R7.2.7　伝統を引き継ぐ会　１年生の語り

僕は、中学生になってから、いろいろなことに集中して取り組むことができるようになりました。その中でも特に頑張ったのは授業です。小学生のときよりも、授業に集中して取り組むようになったことで、「分かる」ことが増えて、授業が楽しくなりました。そして、「楽しいから、さらに学習したい」と思うようになりました。

東安中学校で力を入れている小集団学習では、仲間と交流することで、学びの質を高めることができました。仲間と分からないことを訊き合ったり、「これ、～かなぁ？」、「～なんじゃない？」と「？」で終わる言葉をたくさん使ったりして、学びを深めました。また、自分の考えを仲間に説明することができたときには、「おぉ！説明できた！」と、自信につながったり、仲間の役に立つことができて嬉しいと感じたりしました。

僕は、この１年間で、物事に集中して取り組むことが、自分や仲間にとってすごくプラスになることを学びました。

そして、僕が過ごしてきた１Ａには、個性あふれる３２人の仲間がいます。一人一人、考え方も感じ方も、得意なことや苦手なことが違うからこそ、お互いの思いを尊重することを大切にしながら、学級目標『同心協力　～責任　努力　支え合い～』に向かって、ここまで歩んできました。

僕たちの学級の誇れる財産は、「全員で目標を達成しようとすること」、「誰一人おいていかないこと」、「一人一人が思いをもっていること」、「仲間の思いを大切にしていること」です。

この１年間、毎日のオール５Ａや給食の配膳タイム、教室の整頓、各取組のパーフェクトなどのたくさんの目標に向かって、挑んできました。目標が達成できなかったときには、「何がよくなかったのか」、「次はどうするとよいか」を自分たちで考え、目標達成を目指しました。目標に向かって本気だからこそ、「できなくて悔しい、悲しい」思いもしました。「誰もが悲しい、悔しい思いをしないクラス」にするために、一人一人が責任のある行動をし、努力を積み重ねました。

誰一人置いていかないように、一人一人の仲間への関わり方を考えながら支え合い、一人では難しいことも、乗り越えてきました。その結果、目標を達成できることが増え、みんなで喜び合うことができました。

また、お互いにいろいろな思いを素直に伝え合うことができたのは、仲間が受け止めれくれるという安心感があったからです。

４月からは、中堅学年と呼ばれる２年生になります。いろいろなことに自信と責任をもって取り組めるようにしたいです。一人一人が自立しながらも、仲間と支え合って、みんなで頑張っていきたいです。

僕たちの学級の財産は、「授業への本気度の変化」です。

前期、僕たちのクラスは特定の教科で５Ａをのがしてしまうことが多く、ＡＬＬ５Ａがとれたのはわずか２回でした。しかし、後期に入り、１人１人の意識が変化しました。２分前学習を含め、学習時間を少しでも多く確保するため、時間に余裕をもって行動する姿。分からない問題にぶつかっても、諦めずに教科書を見て調べたり、仲間に聞いたりするなど粘り強く取り組む姿。仲間の意見を最後まで聞き、反応する姿。そんな仲間のよさを自分にも取り入れようとする姿。このように、授業の質を高めようとする仲間が増えたかいもあり、後期には ALL5A を 18 回とることができ、１月には、初の４日連続ＡＬＬ５Ａをとることができました。

僕は勉強が苦手で、前期はよく集中力が切れてしまい、仲間に迷惑をかけてしまっていました。そんな時、僕の班員は根気よく僕に声をかけてくれました。最初は、仲間の声かけが「ちょっとめんどくさ

い」と思っていました。けれど、何度も声をかけてもらううちに、「仲間に何回も言われているのに、話を聞かないのは違うな」「自分のために声をかけてくれる仲間の気持ちを大切にしたい」と思うようになりました。今では、以前よりも自分の行動に責任をもち、小集団交流のときには、自分から進んで質問や発言ができるようになりました。

僕たちの学級目標「切磋琢磨～チャレンジ・責任・助け合い～」を、全員で達成することを目標に生活してきました。ALL5A の回数は増えたけれど、まだ２分前学習での挙手が少ないと感じることがあります。これは、「答えを間違えるのがはずかしい」「めんどくさい」という心の弱さがあるからだと思います。僕は、学級のみんなは心の中で、「周りの人と自分の考えを共有したい」「みんなと成長したい」と感じていると思います。授業での挙手発言や給食配膳、係の仕事を頑張っている仲間の気持ちを考え、自ら進んで動き、助け合えるような学級になりたいと思います。

私は、自分にできることを増やすために、特に社会の授業で、２分前学習の時に挙手をして発表できるようになりました。また、仲間がクラス全体に「座ってねー！」と呼びかける姿を見ていて、毎回ではないけれど自分も全体に呼びかけることができるようになりました。

私は、後期学習文化づくり部長になりました。今までの私は授業で ALL５A を取りたいという気持ちがあっても、教室が少しうるさくなってしまったとき、あまり自分から呼びかけをすることができませんでした。しかり、仲間づくり部を中心によく呼びかけをしてくれていて、仲間が呼びかけをしてくれているから、自分も ALL５A を取るという目標に少しでも力になりたいと思いが高まり、自分も呼びかけができるようになりました。

私の学級は、３１人の個性を大切にしながら、学級目標「笑顔満開～全力・協力・思いやり～」の達成に向けて、「仲間と全力で協力すること」を頑張ってきました。その中で見つけた学級の財産は、「目標が１つに定まったときの団結力」です。例えば、スポーツフェスティバルの時には、競技で頑張っている仲間に「がんばれー！」「あと少し！」など前向きな声かけを全力で行うことでみんなのやる気がアップして、最後まで諦めずに全力で競技を行うことができました。そして総合優勝することができました。また、東安地区魅力発見ウォークラリーでは、計画の段階から仲間と協力し、最短距離の道を調べたり、どうすれば効率よくチェックポイントを回ることができるのか考えたりすることができました。このおかげで、２つの班が高得点で入賞することができました。この２つのことから全力で協力することの大切さを学びました。今、取り組んでいることは授業評価で ALL５A を取ることです。みんなでどうすれば ALL5A を達成することができるのか話し合ったり、最高の一日プランを考えて取り組んだりしています。この取組を通して、前よりも５A をとれる数が増えてきました。これからも団結力を生かして、ALL５A が常にとれるように頑張っていきたいです。

しかし、まだまだ課題もあります。楽しくなってしまうと集中力が切れてしまい、ついつい違うことを話してしまったり、他事をしてしまったりすることがあります。そんなときに、「静かにするよ」「今はこれをやるときだよ」と優しく注意してくれる仲間がいます。その仲間の「思いやり」を大切にして、呼びかけに応え、一人一人が全力で協力して学級目標を意識していきたいと思います。そして、常に ALL5A を取れるようにしていきたいと思います。

２年生に向けて、学級、学年の団結力をもっと高めて、何かに対してみんなが全力で取り組めるようにしていきたいです。また、２分前だけでなく、授業中でも挙手発言を増やして自分の意見や考えを言えるようにしていきたいです。